

国営土地改良事業地区調査「矢作川沿岸地区」

1. 地区の概要

矢作川沿岸地区は、愛知県のほぼ中央、矢作川中下流部に位置し、水稻を中心に水田の畑利用による小麦、大豆を組み合わせた土地利用型農業や、にんじん、たまねぎ等の野菜、花き、茶、果樹等の栽培が展開されている優良農業地帯です。

本地区に農業用水を安定供給してきている農業用ダム、頭首工、幹線水路は、国営矢作川土地改良事業（昭和27～37年）、国営矢作川第二土地改良事業（昭和38～53年）等により整備されました。



位置図

2. 令和4年度の調査

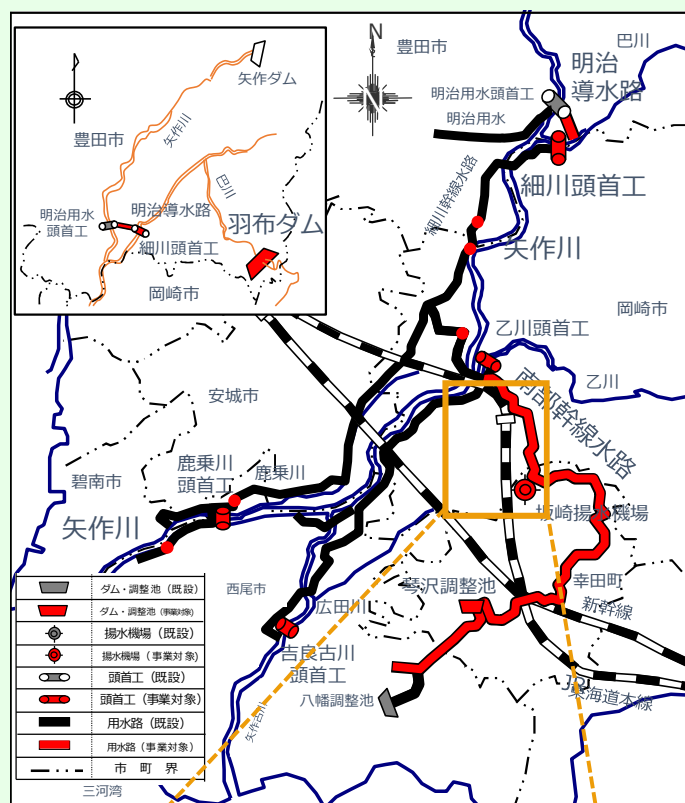
(1) 本地区の概要

老朽化した基幹的農業水利施設の改修、耐震性を有していない施設の耐震化対策の事業化に向けて、平成30年度から国営土地改良事業地区調査を進めてきています。

(2) 上水との共同事業化

基幹的農業水利施設の一部は上水との共同施設であるため、整備に向けては上水との共同事業として調整を進めています。

施 設	共同事業者（予定）
羽布ダム	岡崎市上水
細川頭首工	愛知県企業庁（上水） 岡崎市上水
明治導水路 南部幹線水路	愛知県企業庁（上水）



矢作川沿岸地区の一般計画平面図

(3) 南部幹線水路（バイパス）の計画

南部幹線水路の幹線水路は、非かんがい期に施工する計画としています。

非かんがい期においても愛知県企業庁の坂崎分水工までは、通水を確保する必要があります。このため、（県営）占部用水路から坂崎分水工まで新たにバイパス水路を整備する計画になります。

このバイパス水路は、ＪＲ東海道本線を横断する個所があるため、ＪＲ東海との協議を進めています。

3. 全体実施設計に向けて

「矢作川沿岸地区」は令和6年度の全体実施設計への移行を目指して、関係土地改良区、市町、愛知県と調整を進めています。



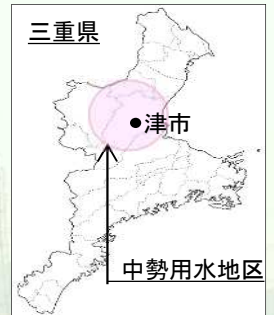
南部幹線水路（バイパス）の路線計画

国営施設機能保全事業「中勢用水地区」

1. 地区の概要

本地区は、地域の基幹的な農業水利施設である安濃ダム、第三頭首工及び用水路等の機能を保全するため、総事業費25億円（着工時点）、平成24～令和5年度の工期で事業を実施しています。

安濃ダム堆砂対策として、平成28年度に堆積土砂の搬出を開始し、令和4年度までに計画搬出量（131千 m^3 ）に到達することが出来ました。また、水管理施設の更新、第三頭首工、幹線水路設備等の補修整備を行ってきました。



位置図

2. 令和5年度の実施内容

令和5年度は、安濃ダムの堆積土砂の搬出先の最終整備を行うとともに、安濃ダム管理所の補修及び幹線水路設備の整備等を行い、事業完了する予定です。



安濃ダム堆砂対策工事



ダム取水設備補修工事



幹線水路機械設備整備工事



取水設備の更新



ゲート更新



ゲート・操作盤更新



ゲート更新

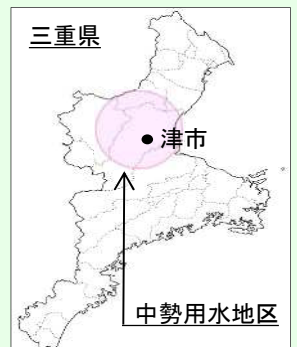


中勢用水地区の再評価を実施しました。

1. 再評価とは

再評価とは、「行政機関が行う政策の評価に関する法律」に基づき、国営土地改良事業等を対象として実施するものです。

平成24年度に着手した国営施設機能保全事業「中勢用水地区」は、事業着手10年となる今年度に再評価を行いました。



位置図

2. 再評価の内容

再評価は、評価の透明性や客観性を確保するため、専門的知見を有する第三者から構成される技術検討会（委員長：岐阜大学応用生物科学部の平松教授。そのほかに4名の外部委員）において、以下の項目を中心に検討されました。

- ア 事業の進捗状況
- イ 関連事業の進捗状況
- ウ 農業情勢、農村の状況その他の社会経済情勢の変化
- エ 事業計画の次に掲げる重要な部分の変更の必要性の有無
 - (ア) 事業の施行に係る地域、(イ) 主要工事計画、(ウ) 事業費
- オ 費用対効果分析及び当該費用対効果分析の基礎となる要因の変化
- カ 環境との調和への配慮
- キ 事業コスト縮減等の可能性

委員会の意見（概要）は次のとおりです。

- ・ 当該地域は水源に乏しい地域であり、本事業の重要性は高い。
- ・ 農業農村整備事業は食料の安定供給の確保はもちろん、営農を通じて農村地域や中山間地域の維持においても重要な役割を担っていることが確認できる。
- ・ 安濃ダムは、治水目的のダムではないが、農業用水の利用に支障のない範囲内で管理者の運用により、地域の洪水被害の軽減が図られている。
- ・ 農業のみならず多面に有する事業効果の発現のため、令和5年度の完了に向けて着実に事業を推進されたい。

中勢用水地区は、今回の再評価の結果を受け、事業効果の早期発現のため、関係団体と密接な連携を図り、環境への配慮やコスト縮減にも努めつつ、事業完了に向けて着実に事業を推進することとしています。



現地調査（7月5日）



営農者との意見交換（7月5日）



第2回技術検討会（7月22日）

中勢用水地区の事業実施状況については、9ページをご覧ください。
詳細な再評価結果については、農林水産省ホームページをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/noukei/jigyohyouka/R04-2/r4kityuu.html>

